

学校名 ぎふけんりつやまがたこうとうがっこう
 岐阜県立山県高等学校
 所在地 岐阜県山県市中洞44-1
 電話 0581-52-1551

1. 本校の概要

本校は県都岐阜市に北接する山県市の東北端に位置し、山裾やますそに建つ校舎の南側には清流武儀川が流れ、豊かな自然環境の下で教育活動が開かれてきた。また、本校は創立52年の歴史をもつ普通科高校であり、情報コース1クラス、OAコース1クラスを設置した1学年4クラス編成の高校で、地域の要望こたに応える教育課程づくりに努めてきた。なお、昨年度から「学力向上フロンティアハイスクール」の文科省研究指定を受け、生徒の自主性・積極性を引き出し「生きる力」を育てる教育実践と研究に励んでいる。

2. 本校の実践の概要

(1) 本校における朝読書の意義

近年「学ぶ意欲」・「生きる力」の育成が叫ばれる中で、各教科で図られるべき様々な授業改善策とともに、本校の教育の基本部分にかかわる取組も求められてきた。

従来から本校では、生活規律・授業規律の確立に取り組み、かなりの生徒が落ち着いた学校生活を送れるようになっていたが、まだ安定感に欠ける状態にあった。その生徒たちに、朝読書を通して自らの力で“内面の充実”を体験させ、それを深めさせる中で、切磋琢磨する雰囲気くわを本校に創り出していこうと考えた。

(2) 朝読書の開始と定着

朝読書の実践は、SHR前に10分を全校一

斉に確保し、『みんなで読む、毎日読む、好きな本でよい、ただ読むだけ』を全教



<学級文庫用書籍のストックスペース>

職員の確認事項としながら出発した。

理念はともかく、実際には「読まない生徒をどう指導するか」、「事前に本を用意しない生徒のための学級文庫をどう整え充実させるか」、「いかに読書の楽しさを知らせ、良書を推薦し、供給し続けるか」等の課題に日々直面したが、全校的な協力体制の強化と広報紙『ADタイムス』などで解決策を探りながら実践を続けた。

(3) 学校図書館利用の増加

学校図書館の貸出しも朝読書開始当初は急増し、その後多少減ったものの実践前に比べて高い貸出数で推移している。また、放課後の図書館利用者も多くなり、新刊書などに対する生徒のリクエストも増えてきた。

(4) 読み聞かせボランティアなどの取組

朝読書は、図書委員会の活動の活性化にもつながり、近隣小学校への読み聞かせボランティアも年2回行うようになった。また、地元の広報紙に載った「山高の朝読書に本を寄付してください」との訴えを目にされた近隣の5人の方から、不要になった蔵書うれをいただくという嬉しい“地域とのつながり”も生まれた。

3. 成果と今後の課題

開始から4年半余り、最近のアンケート結果から問題点と課題を整理してみた。

- ① すべての生徒を巻き込めるような、きめ細かな“読書のおもしろさ”を広げる活動
- ② 教科指導との一層の連携
- ③ 図書委員会の活動の一層の工夫
- ④ 読書にまつわる楽しい行事の追求

<7月のアンケート結果の一部>

・朝読書はあなたにとって意味がありましたか。	
イ 意味があった。	31%
ロ 少しは意味があった。	55%
ハ 意味がなかった。	14%
・朝読書で読んでいる本は？	
イ 本屋で買った本	47%
ロ 学級文庫の本	27%
ハ 図書館で借りた	14%
ニ 自宅から	12%